

わたし達が使った後の水は…

精松 夏希

須恵町立 須恵第三小学校

「ジャー」今日もわたしは、あたりまえのようにトイレが終わったら、水で流している。わたしは、朝や夜、あたりまえのように湯が出てくるから、ふろに入ったり、シャワーを浴びている。「あー、おいしい。」また、今日もおいしい水を飲んだ。どうしていつもあたりまえのように水が出てきたりするんだらう。いつもあたりまえに出てくる水。いつでも見かけるふつうの水。

そして、すっかり月日がたった。でも、わたしはまだ知らなかった。どれだけ使った後の水をきれいにするのは、大変な仕事なのか。そして、どのようにして、よごれた水をきれいにするのか。いろいろな事が、まだわたしには分からなかった。

でも、わたしは多々良川浄化センターに行って、浄化センターの人達が、お水の事について説明をしてくれたり、話してくれました。それを聞いて、わたしは、水を大切にしないといけないという大切な心をふくらませました。

水によごれを食べてくれるびせいぶつの名前をおしえてくれたり、じっさいにびせいぶつが動いているところを見せてくれたりしました。下水道管の大きさを見せてくれたりしました。

なぜ、トイレにティッシュを流してはいけないのか、実験を見せてくれました。なぜ流してはいけないのかは、トイレットペーパーが入った水のペットボトルと、ティッシュが入った水のペットボトルを十回ふると、トイレットペーパーは、かたまりがなくこまかく

なるけど、ティッシュはかたまりがあり、そのまま流すとトイレがつまったりして、トイレができなくなるからです。

そして、中央そうさ室のかんしカメラを動かすところを見たり、きかいがこわれていたり、止まっていたりするところなどを中央そうさ室でかくにんをする、と浄化センターの人に教えてもらいました。

それから、須恵町や宇美町など、かすや郡のマンホールを見せてもらいました。マンホールは町によってちがいが、須恵町は「つつじ」、志免町は「さくら」というかんじで、かすや郡のマンホールは花だと分かりました。だから、わたしは須恵町のつつじマンホールをさがして、見てみたいです。

まとまったことは、このように水をきれいにする仕事は大変だから、これからの生活で水を出しっぱなしにしたりすることをしないように水を大切にすると、ということでした。

「プップー」バスで学校にとうちやく。「あ、水が出しっぱなしになってる。水を止めなくちゃ。」わたしは今日の浄化センターで教わったことをいかして、水が出しっぱなしだったから、水を止めました。わたしにできることは、水を出しっぱなしにしないことです。